

砺波平野に**鉄道**を 大矢 四郎兵衛

中越銀行設立に参加

中越鉄道の建設に力を尽くす

北海道で開拓事業



1857 (安政4) 年12月19日—1930 (昭和5) 年9月25日

金沢の塾で儒学を学ぶ

砺波郡鷹栖村 (現砺波市) の大地主の二男として生まれました。9歳で父が、13歳で兄が亡くなったため、四郎兵衛が家を継ぎました。子どものときは寺子屋で勉強し、その

後、金沢の塾で儒学の一つである陽明学*を学びました。この塾で四郎兵衛は、学んで得た知識を実際の行動に生かすことが大切だという教えを身に付けました。



生家の跡に建てられた生誕碑 (砺波市鷹栖)

砺波地方を発展させたい

日ごろ「人間に上下の区別はない」と話していた四郎兵衛は、島田孝之 (砺波郡般若野村) らと越中改進黨の結成に参加しました。米の値段が大きく下がって困っていた農民を救おうと、税を軽くするよう政府に求めるなどの活動をしました。

からは、「砺波地方を発展させるためには、経済活動の拠点としての銀行をつくり、砺波平野の米を運び鉄道を建設しなくてはならない」と考えるようになりました。



創建当時の中越銀行 (北陸銀行提供)

県内初の中越鉄道が開通

四郎兵衛は中越銀行設立にも参加したほか、砺波平野を流れる宮川に船を通して高岡や伏木と結ぶ会社をつくり、周辺道路の建設にも取り組みました。さらに、地域がこれからも発展していくための決め手は、鉄道が通ることだと考えていました。

で建設しようと思い立ちました。砺波のほかにも高岡、射水の有力者の協力が得られ、1895 (明治28) 年、四郎兵衛が社長になって中越鉄道建設のための会社がつくられました。

当時は国鉄の北陸線が大阪から福井県の敦賀まで来ていただけでした。四郎兵衛は1892 (明治25) 年ごろ、高岡と城端を結ぶ中越鉄道 (現JR城端線) を自分たちの力

工事が始まった後に庄川の洪水で線路が水に押し流される災害にあい、高岡停車場の場所を変更するなど計画の見直しを迫られることもありました。しかし、1897 (明治30) 年には、富山県で初めての鉄道が開通しました。



中越鉄道が開業した当時の第1号機関車 (南砺市立中央図書館提供)

*陽明学【ようめいがく】 中国の明の時代に王陽明が始めた哲学です。日本では幕末に佐久間象山、西郷隆盛、吉田松陰らが学びました。

気持新たに北海道で開拓

1897 (明治30) 年5月9日には、高岡—福野間に富山県で初めて蒸気機関車が走りました。高岡では盛大な開通式が行われ、当時「陸蒸気」と呼ばれた蒸気機関車を一目見ようと線路沿いには大勢の人が集まり、花火も打ち上げられました。その後、福野—福光間、福光—城端間、高岡—伏木間の工事が進められ、城端から氷見までの全線が開通したのは1912 (大正元) 年9月19日でした。

た。1917 (大正6) 年には、小沢村の村議会議員に選出されました。

四郎兵衛は1898 (明治31) 年には、衆議院議員に初当選し、以来5年4か月にわたって国の政治に携わりました。

また、明治25年ごろから北海道へ移住する者が増え始め、四郎兵衛も1900 (明治33) 年に新天地である北海道へ渡り、4年後岩内郡小沢村で大矢農場を開きまし



中越鉄道の開通を伝える当時の新聞 (富山県立図書館蔵)



北海道小沢村の大矢農場の跡地

夢や志をかなえたポイント

- 人を差別しない
- 時代の変化に敏感に対応する
- やろうと思ったことは、責任をもって進める

豆知識 砺波郡新西嶋村 (現小矢部市) 出身の沼田喜三郎も1882 (明治15) 年、北海道へ渡り、雨竜郡北竜村の土地を開墾しました。この地は開拓者の名をとって1922 (大正11) 年に「沼田町」と名づけられています。

- 1857 (安政4) 0歳
砺波郡鷹栖村の大地主の家に生まれる
- 1884 (明治17) 27歳
砺波活版所をつくる
- 1885 (明治18) 28歳
県議会議員になる
- 1895 (明治28) 38歳
県議会議長になる
中越鉄道の社長になる
- 1898 (明治31) 41歳
衆議院議員になる
- 1900 (明治33) 43歳
北海道に移住し開拓の仕事を進める
- 1908 (明治41) 51歳
県立砺波中学校の設立が認可される
- 1930 (昭和5) 72歳
北海道岩内郡小沢村で亡くなる

コラム 砺波中学校の設立に尽力し、新聞も発行した四郎兵衛

四郎兵衛はほかにも砺波のためにたくさんの仕事をしています。農民に桑の苗を無料で配り蚕を飼育する副業を勧めたり、県立砺波中学校 (現県立砺波高校) の設立に尽力したりしています。

また、砺波に印刷所をつくり、1894 (明治27) 年には県内で初めての政党機関紙「富山日報」の社長にも就任しています。



生家近くに建てられた四郎兵衛の銅像